

(後期) 1年次・必修

【概要・目標】

人間の健康についての多面的な考究に必要な視点、知識、研究手法等を習得する。すなわち、今日的な健康課題として、人間の尊厳にかかわる健康の概念、基本的人権としての健康権、社会環境の変化に伴う健康問題の変遷、教育、保健・医療、福祉の統合とヘルスプロモーションの展開等について学際的に理解する。

【授業内容・スケジュール】

- 1 生命維持と健康—生理学的理解—
  - ① 生理学からみた健康
  - ② 生命表に見る健康課題の変遷
  - ③ 感染症対策から生活習慣病予防へ — 一次予防と二次予防 —
  - ④ 生涯を通じての健康づくり
- 2 精神発達と健康—大脳生理学と発達心理学—
  - ⑤ 人間らしさの生理学的基礎
  - ⑥ 発達段階と発達課題—健康な「こころ」を育てるために—
  - ⑦ 発達段階に応じた精神保健
  - ⑧ 自殺の年次推移とその背景にあるとみられる諸要因
- 3 健康の社会的側面
  - ⑨ 狩猟・採集社会、農耕社会から工業化、頭脳集積型社会へ
  - ⑩ 人口問題の変遷—少子・高齢化が提起する課題
  - ⑪ 少子化対策と高齢社会対策
  - ⑫ 社会の組織的努力と個人の自助努力・自己責任
- 4 環境と生体の相互作用
  - ⑬ 生態系の営み
  - ⑭ 疾病の発症・進展への各種要因のかかわり
  - ⑮ 新しい環境問題—地球環境問題

【評価】

筆記試験 (80%)、毎時間のミニレポート (20%)

【教科書】

城・宮下・武田編 「エビデンスにもとづく公衆衛生学」 培風館 2017  
 その他、必要に応じ資料配布

【推薦参考図書】

適宜紹介する

【その他】

メールアドレス sinn\_takeda@msn.com